

佐賀中部 地域リハビリテーション 広域支援センター通信

4号

平成17年9月発行



地域リハビリテーションとは

障害を持つ人々や高齢者およびその家族が住みなれたところで、そこに住む人々と共に、一生安全にいきたい生活が送れるよう医療や保健・福祉および生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの考えから協力し合って行う活動をいいます。

リハビリ従事者研修会のお知らせ

※今回は、第7回市民公開講座「神経難病とリハビリテーション」という形で行われます。

平成17年10月16日(日)

日時

13:00～15:30 (受付12:30～)

場所

佐賀市文化会館 中ホール

佐賀市日の出1丁目21-10 TEL:0952-32-3000

内容

第7回市民公開講座「神経難病とリハビリテーション」
①「神経難病のリハビリテーション」

講師：公立八鹿病院神経内科 近藤 清彦 先生

②「難病のリハビリテーション～当院での難病に対する取り組み～」

講師：ひらまつ病院 理学療法士 新郷 修二 先生

③「難病患者の日常生活における現状と課題」

講師：佐賀県難病相談支援センター 三原 睦子 先生

参加
無料

定員 500名程度



テクノエイド講習会のお知らせ

平成17年11月9日(水)

日時

19:00～20:30 (受付18:30～)

内容 「車椅子・福祉用具の紹介」

講師：佐賀大学医学部附属
地域医療科学教育研究センター助教 松尾 清美 先生

場所

佐賀大学医学部附属
地域医療科学教育研究センター
佐賀市鍋島5丁目1-1 TEL:0952-34-2180

定員

40名

申込
期限

11月2日(水)

平成17年11月26日(土)

日時

14:00～16:00 (受付13:30～)

内容 「福祉用具の選定のポイント
及び住宅改修について」

場所

佐賀県介護実習普及センター
佐賀市神野東2丁目3-33 TEL:0952-31-8655

定員

40名

申込
期限

11月18日(金)

【申し込み方法】申し込み期日までに、下記の事項について記入の上、FAXにて佐賀中部広域支援センターに申し込みください。

①「第7回市民公開講座参加希望」またはテクノエイド講習会の参加希望日

②所属・氏名(職種) ③連絡先電話番号・FAX番号

④研修内容に関する質問(特に取り上げてもらいたいこと)等ありましたら記入ください。

FAXでの申し込みを受け付けた方へは、受付通知書を返信いたします。

1週間たっても返信がない場合はセンターにTEL連絡をお願いします。

【注 意】定員を超えた場合は、お断りする可能性がありますので、早めにお申し込みください。

【申し込み先】佐賀中部地域リハビリテーション広域支援センター FAX 0952-28-5313





センター長あいさつ

佐賀中部広域支援センター長 加藤 収
佐賀社会保険病院長

佐賀中部地域リハビリテーション広域支援センターに指定されてほぼ2年経過いたしました。この間当院スタッフをはじめ関連施設の皆様のご協力、ご指導を受けながらなんとかセンターとしての役割を果たしてこれたことにたいして厚くお礼申し上げます。7月からリハビリ科部長兼神経内科部長として佐賀大学付属病院神経内科講師であった黒原和博先生が着任しました。今後彼を中心に当院スタッフがお手伝いさせていただきますが、センターのますますの充実をはかるために当病院としても全面的に協力させていただきます。

これからは皆様と多くの情報を共有しながら意見の交換を重ね、患者さんやご家族に有益なセンターにするためにご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科 部長あいさつ

黒原 和博

皆様、はじめまして。本多先生の後任として、7月1日に赴任致しました。神経内科部長も兼任しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまででは佐賀大学医学部付属病院で神経内科専門医として研鑽を積んできました。得意な分野は、てんかんの薬物療法、パーキンソン病の治療、神経系感染症などですが、今後は守備範囲を拡大して行くことを目標にしております。神経疾患全般の診断と治療から、慢性の障害を持った方々のリハビリテーションまで幅広く診察致します。多数の患者さんをご紹介下さいましたら幸いです。

事務局長あいさつ

堀 邦広

平成17年6月末に本多知行事務局長が佐賀社会保険病院を退職され、大阪へ赴任されました。在職中は広域センターの基礎を創って頂き深く感謝しております。

新事務局長として、今年度の広域センターの目標は、第1に地域リハビリテーション連絡票の普及活動と考えます。地域リハビリテーション連絡票とは佐賀県下全域で統一された書式を用い、リハビリテーションに関する情報を継続させ、地域内でのネットワークを構築していく一手段であると考えています。今後、各施設へ配布いたしますので医師をはじめリハビリに従事する関係職種に活用していただければと考えています。

研修会におきましては、佐賀リハビリテーション研究会と共催会合運営で10月16日に市民公開講座「神経難病のリハビリテーション」を予定しています。また、「佐賀県介護実習普及センター」での研修や「佐賀大学地域医療科学教育研究センター」での研修も11月に予定していますので、多数の御参加をお待ち致しております。

事務局長になりにどのような活動を展開していけばよいのかまだまだ判らないことばかりですが、皆様の御意見をもとに運営していきたいと考えております。御指導、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

STからのワンポイントアドバイス



コミュニケーション機器について

私たちは普段、コミュニケーションといえば「話しことば」でするものと思っています。しかし私たち自身も「話しことば」以外の方法でコミュニケーションを取っています（目配せ、表情、ジェスチャー、手紙、ファックス、メールなど）。「話しことば」にこだわらずコミュニケーションを考えていく時、様々なコミュニケーションの形があるということを知っておくことが必要です。

「話しことば」でなく自分の気持ちや考えを表現するコミュニケーション手段・方法は大きく分けると二つの方法があります。

一つは道具を使わずに、身体だけで行なう方法（非エイドコミュニケーション）です。表情や行動、手話やジェスチャー、指さし、発声、視線などがこれにあたります。

もう一つは「コミュニケーションエイド」と呼ばれる道具を使った方法です。これには、簡単な道具を使った口一テックコミュニケーション、コンピューターなどの電子機器を使ったハイテックコミュニケーションの二つの種類に分けられます。

ここでは、コミュニケーションエイドをいくつか紹介します。

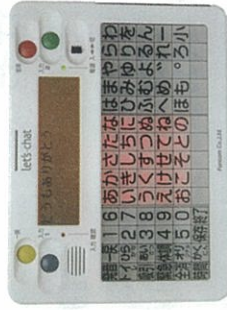
ハイテックコミュニケーション

話しことばを使ってコミュニケーションするのが特徴

●トーキングエイド



●レッツチャット



ローテックコミュニケーション

安価に多くの人が手軽に作成できるのが特徴

●コミュニケーションノート



●テックトーク4



●50音表



ちなみに…

失語症者にとっては、50音表を使つての指指しは、困難な場合が多く、絵や単語（仮名・漢字）のカードを使った方が有効です。

コミュニケーションエイドは、個人のレベルにあったものを選択することが重要です。言語聴覚士や専門家に相談することをお勧めします。

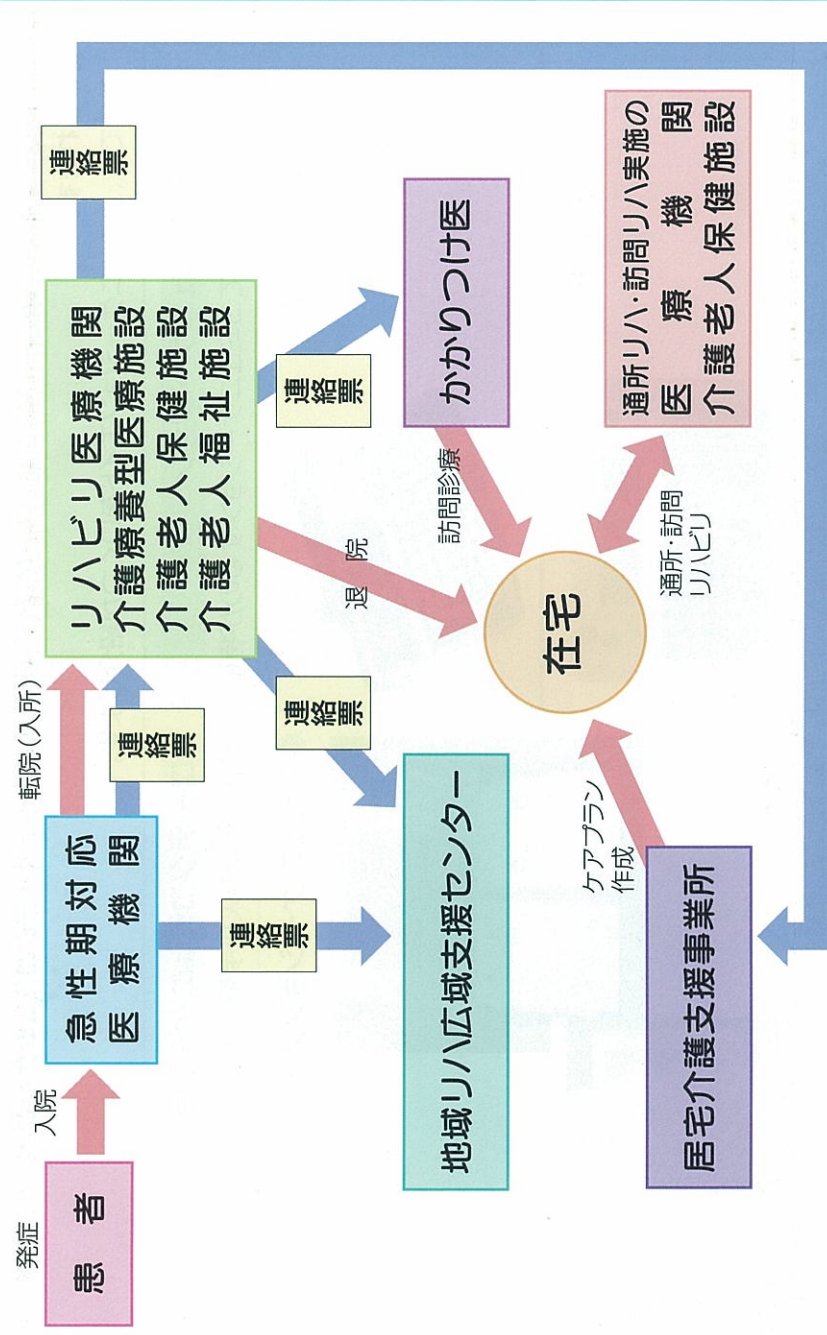
佐賀県下全域の統一した

「地域リハビリテーションシヨン連絡票」が出来ました

この連絡票は、医療機関、施設、在宅を支える者が利用することで各施設間の連携を深め寝たきりを予防することを目的に作成しました。

実施機関は、①佐賀県内の医療機関 ②介護保険施設 ③リハビリに関連する施設です。
対象者は、佐賀県内に住所を有する方で①通院によりリハビリを行う必要がある方②医療機関や介護保険施設等療養後に転院（所）する方③退院（所）後に在宅に戻った「寝たきり」のおそれのある方。

地域リハビリテーションシヨン連絡票の利用例



※いずれも**本人もしくは家族の同意**が必要

利用についての留意点

- 連絡票は3部複写です。
1枚目は、記載者（事業所）
2枚目は、紹介先（医療機関、施設、かかりつけ医等）
3枚目は、地域リハビリテーションシヨン広域センター

注意事項

- この連絡票の記載するに当たっては、リハビリに関する職種であれば誰でも記載可能ですが、必ず医師の署名・捺印が必要です。
- 医療保険上の診療情報提供料および介護保険の情報提供等に関しては、医師からの情報提供料に加えて算定できません。

※連絡票は、当センターより配布しております。詳細についてはセンターまでご連絡ください。

「地域リハビリテーション連絡票」記入要領

控え・紹介先・保健所又は広域支援センターの3枚綴りとなっています。

地域リハビリテーション連絡票

紹介先医療機関
(施設)名:

紹介元医療機関(施設)名:

久控

報告日:平成
年 月 日

相当医：科

殿

TEL: FAX:

所在地:

*本人又は家族の同意(有・無)

*分らない箇所は医師に相談するか、もしくはチェックしない。

医師氏名・
医師の記名・押印

情報提供上
必要な項目

主に医師の項目

主に歯科医
の項目
(誰にでも書ける内容)

主に薬剤師
の項目
建築関係
の項目

生活状況に関する項目

目録

ふりがな氏名	様 男・女	住 所	
生年月日	M・T・S・H 年 月 日 日生 () 歳	連絡先	
入院期間	年 月 日 ~ 年 月 日	障害名	片麻痺・対麻痺・四肢麻痺・単麻痺・関節拘縮 摂食障害・嚥下障害・その他 ()
原因疾患	脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、病型不明) 脊髄疾患、神経難病 ()・リウマチ・ 骨折・変形性関節症・その他 ()	合併症	糖尿病・高血圧・高脂血症・狭心症・不整脈 その他 ()
歯科項目	口の中が(清潔・不潔) 歯磨きは(自立・介助) (毎食後・1日1回・時々・磨かない) 口臭(有・無) 歯が(有・無) 痛みがある(歯・歯ぐき・ぐちぐちする歯がある) 歯ぐきから出血(有・無) 物が噛める(よく噛める・普通・噛めない) 義歯の使用(有・無) (痛い・痛くない) (着脱できる・できない) かかりつけ歯科医() 歯科医院・いない 訪問歯科診療希望(有・無)		
特記事項	服薬状況:自分で(飲める・飲めない) 飲めない理由は記載のこと 一包化(要・不要)		
テクノエ	福祉用具(何を) 専門家の意見の必要性(要・不要) 家屋改造の必要性 (玄関・トイレ・浴室・寝室・廊下・居間) (手すり・取っ手・段差解消・補高・空間工夫)		
二次的障害と訓練阻害因子	関節拘縮(どこに:)、 筋萎縮 ()、床ずれ ()、 関節痛 ()、円背・肥満、低栄養、 起立性低血圧、動悸、息切れ、易疲労、易発熱 自立・部分介助・全介助(はし・スプーン・自動具(要・不要)) 自立・部分介助・全介助 前空き(可・不可)か、ぶ(可・不可) 入浴 自立・部分介助・全介助 背中洗(可・不可) 排尿 自立・部分介助・全介助 尿失禁(有・無)・カテーテル導尿(有・無) 排便 自立・部分介助・全介助 便秘(有・無)・お尻拭き(可・不可) 移動 自立・部分介助・全介助 ベッド⇄ポータブルトイレ(自立・部分介助・全介助) 移動 独立・見守り歩行・介助歩行・車椅子で(自立・要介助) 装具(有・無)・杖(有・無)・歩行器(有・無) 動作 いざり(可・不可)、四つ這い(可・不可)、椅子に座る(可・不可)、畳からの立ち上がり(可・不可) 摂食状況 経口栄養(普通食・刻み食・流動食・ミキサー食・とろみ食)・経管栄養・胃ろう栄養 治療食(要・不要) (あれば:) Kcal		
コミュニケーション	良好・少し可・不可 難聴(有・無)・呂律障害(有・無)・失語症・言葉の理解(良・不良)・適当な言葉が出ない(有・無)		
精神機能	認知症(ひどい・少し・無し)・長谷川式()点 物忘れ・場所間違い・自覚性低下・うつ状態・不安感・易興奮・ 攻撃性・強い恐怖感・不潔行為・問題行動・高次脳機能障害・意欲障害(ひどい・少し・無い)・判断能力(有・無) 自分の意志伝達(可・不可)・何かあれば具体的に()		
身体手帳	有() 級・無 要介護度 自立・要支援・介護1・2・3・4・5 保健師訪問指導・介護サービスの希望(有・無)		
目標	現状の維持・ADLの自立・QOLの向上・移動の向上・歩行の向上・認知症の改善・意欲の向上		
今後予測される問題及び継続リハビリ要望点(具体的に):			
注意事項	視力障害、視野障害 オムツはぎ、転倒の危険、徘徊、不眠、治療及び介護への抵抗、MRSA感染既往 B・C肝炎、疥癬、誤嚥、脱水、その他 ()		

*この連絡票は、平成 年 月 日現在
の状態で、状況により変わることがあります
記載者:

情報提供の内容は、状況により変化するのでは

一つの時点での内容が分かるようにして下さい。

※リハビリに従事する関係職種の誰もが記載できます。

地域リハビリテーション関係者のための掲示板

難病相談・支援センター講演会・交流会

9月24日(土) 13:30～	稀少難病交流会 場所:佐賀県難病相談・支援センター
10月8日(土) 13:30～	HAMに関する講演会 講師:長崎ウエスレヤン大学 村上 清 先生 場所:佐賀県難病相談・支援センター
11月5日(土) 13:30～	HIVに関する講演会 講師:国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター 情報室長 立川 夏夫 先生 場所:佐賀県難病相談・支援センター
11月12日(土) 13:30～	ALS患者・家族講演会 講師:日本ALS協会会長 橋本 みさお 先生 場所:小城保健福祉センター 校舎館
11月24日(土) 13:30～	ネイルアート体験教室 場所:佐賀県難病相談・支援センター

- 定 員 : 特にありません ● 受講料 : 無料
- 申込先 : 電話、FAX、Eメールで下記に申し込んで下さい。

〈申し込み・問い合わせ先〉

佐賀県難病相談・支援センター

佐賀市成章町5-2 (成章中学校南)
TEL・FAX:0952-27-0855 Eメール:Sagapref-nanbyo@b1.bunbun.ne.jp

第45回佐賀リハビリテーション研究会

- 日 時 : 平成17年10月16日(日) 10:30～12:00 (受付10:00)
- 場 所 : 佐賀市文化会館 中ホール
佐賀市日の出1丁目21-10 TEL:0952-32-3000
- 内 容 : ①介護保険制度改正と介護予防事業について
講師 佐賀県庁 長寿社会課 森木 久 課長
②軽度の要介護高齢者を対象とした運動トレーニングの効果について
講師 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野 松垣 靖樹 先生
- 定 員 : 500名
- 資料代 : 会員 1,000円 非会員 1,500円

〈申し込み・問い合わせ先〉

佐賀中部地域リハビリテーション広域支援センター

佐賀市兵庫南3丁目8番1号 佐賀社会保険病院内
TEL : 0952-28-5312 FAX : 0952-28-5313

介 護 講 座

- 対象者 : 介護関係の仕事に従事している方
- *テーマ別技術向上講座

9月30日(金) 13:30～15:30	排泄介護のポイント 講師:佐賀県介護福祉士会
10月28日(金) 13:30～15:30	応急処置のポイント 講師:日本赤十字佐賀県支部
11月4日(金) 13:30～15:30	終末期介護のポイント 講師:訪問介護看護ステーション看護協会
1月19日(木) 13:30～15:30	介護計画の立案と展開 講師:佐賀短期大学

*福祉用具講座

11月12日(土) 13:30～15:30	ベッド関連用具
1月28日(土) 13:30～15:30	排泄関連用具

*住宅改修講座

「介護保険における住宅改修のポイント」

日 時 : 12月22日(木) 13:30～15:30

- 場 所 : 佐賀県介護実習普及センター
- 定 員 : 30名程度
- 受講料 : 無料

福祉用具プランナー研修

福祉用具の知識・技術を有する専門家養成講座です。

- 日 程 : 平成17年12月8日(木)～12月15日(木)
(12月12日(月)は除く7日間の研修)
- 場 所 : 佐賀県長寿センターはればれ内 3階研修室
- 定 員 : 35人
- 受講料 : 25,000円

〈申し込み・問い合わせ先〉

佐賀県介護実習普及センター

佐賀市神野東2丁目3-33
TEL : 0952-31-8655 FAX : 0952-30-2591

リハビリ・テクノエイドに関する相談、研修会講師の依頼、出張指導などの連絡はこちらまで。

佐賀中部地域リハビリテーション広域支援センター

TEL 0952-28-5312 FAX 0952-28-5313

受付時間 : FAXにて随時受け付けています。

電話の場合 毎週 火曜・木曜 12:30～13:30、16:30～17:30
〒849-8522 佐賀市兵庫南3丁目8番1号 佐賀社会保険病院内